

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科	
国語 III (Japanese III)	担当教員	松田 信彦 (Matsuda, Nobuhiko) 小野 益夫 (Ono, Masuo)	
	教員室	松田：一般科目棟 3 階 (TEL : 42-9042) 小野：学生共通棟 1 階 非常勤講師研究室 (TEL : 42-2167)	
	E-Mail	松田：n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp 小野：	
	教育形態／単位の種別／単位数	講義・演習 ／ 履修単位 ／ 2 単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分)〕 × 30 回		
〔本科目の目標〕	現代文・古典に関わらず、作品を的確に理解し、鑑賞力・思考力・批判力を高め、自己の言語生活及び教養を豊かにする。また日本語の基礎事項および表現法を修得し、自分の考えを適切に表現する知識・技能を養うとともに、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また特に日本語をとおして日本文化を考えることも目的とする。		
〔本科目の位置付け〕	1 年次の「国語 I」、2 年次の「国語 II」における、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。4 年次の「日本語表現」へと発展する。		
〔学習上の留意点〕	本年度は、昨年度の教科書を引き続き使用し、さらなる作品理解に努めるだけでなく、総合的な国語力を高めるために、「パーフェクト演習」も使用して授業を進める。教科書のほか手持ちの国語便覧・国語辞典等を活用するとともに、日常生活の中での読書や新聞・テレビ・ラジオを視聴するときにも、常に自分の語彙力・表現力及び教養を豊かにする工夫をすること。		
〔授業の内容〕			
授業項目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 【精選現代文】 評論「虚ろなまなざし」	8	<input type="checkbox"/> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。 <input type="checkbox"/> 論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 <input type="checkbox"/> 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる。 <input type="checkbox"/> メディアの権力性とともに、メディアを批判する側の動機に潜む怖れを分析し、主体性の幻想とその問題について理解できる。	教科書の当該本文の音読をすること。
2. 【プラクティカル日本語】 .第 I 部 文章作成の基礎 1 章～5 章	7	<input type="checkbox"/> 会話と文章の区別を理解できる。 <input type="checkbox"/> 考えを文字化することができる。 <input type="checkbox"/> 私的な文章と公的な文章の区別ができる。 <input type="checkbox"/> 事実と意見の相違点を理解できる。 <input type="checkbox"/> 文章に求められる客觀性を理解できる。 <input type="checkbox"/> 曖昧さの排除と感情表現を遮ける技術の習得ができる。 <input type="checkbox"/> 読み手に理解されやすい文章の基本を理解できる。	教科書の当該本文の音読をすること。
---前期中間試験---		授業項目 1、2 について達成度を確認する。	
3. 【精選現代文】 小説「こころ」	8	<input type="checkbox"/> 長編小説の主題を、場面の展開や人物の性格・心理描写から読みとることができる。 <input type="checkbox"/> 作品に描き出された人物像を通して、人生についての考えを深めることができる。 <input type="checkbox"/> 文体や修辞などの、表現上の特色をとらえることができる。 <input type="checkbox"/> 作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。	教科書の当該本文の音読をすること。
4. 【プラクティカル日本語】 .第 I 部 文章作成の基礎 6 章～9 章	5	<input type="checkbox"/> 接続の表現を正しく理解することができる。 <input type="checkbox"/> 文体統一の基本を理解できる。 <input type="checkbox"/> 読点の役割を理解し利用できる。 <input type="checkbox"/> 正しい引用で読み手の信頼を高めることができる。	教科書の当該本文の音読をすること。
---前期期末試験---		授業項目 3、4 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解出来る。	
		>>> 次頁へつづく >>>	

[授業の内容]			
授業項目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
>>> 前頁からのつづき >>>			
5. 【高等学校古典（古文編）】 評論 去来抄 「行く春を」「岩鼻や」	5	<input type="checkbox"/> 俳論の文学史上の価値・位置づけを理解できる。 <input type="checkbox"/> 芭蕉とその門人たちの作品についての考え方を比較することで、芭蕉の俳諧に対する考え方を理解できる。 <input type="checkbox"/> 基本的な敬語法を理解できる。	教科書の当該本文の音読すること。
6. 【高等学校古典（古文編）】 物語 源氏物語 「桐壺」	9	<input type="checkbox"/> 作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを理解できる。 <input type="checkbox"/> 語彙・語法や敬語表現に注意して内容を理解できる。 <input type="checkbox"/> 登場人物の動きや心情を読み取り、物語のおもしろさを味わうことができる。	教科書の当該本文の音読すること。
7. 漢字・語彙 パーフェクト演習 第一編 ---後期中間試験---	2	<input type="checkbox"/> 基礎的な語彙力の強化をはかり、日本語を正しく読み書きできる。	授業時に指示する。
授業項目5～7について達成度を確認する			
8. 【高等学校古典（古文編）】 物語 源氏物語 「若紫」	10	<input type="checkbox"/> 作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを理解できる。 <input type="checkbox"/> 語彙・語法や敬語表現に注意して内容を理解できる。 <input type="checkbox"/> 登場人物の動きや心情を読み取り、物語のおもしろさを味わうことができる。	教科書の当該本文の音読すること。
9. 漢字・語彙 パーフェクト演習 第二編 ---後期期末試験---	2	<input type="checkbox"/> 基礎的な語彙力の強化をはかり、日本語を正しく読み書きできる。	授業時に指示する。
授業項目8～9について達成度を確認する			
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解出来る。	
[教科書] 精選現代文 筑摩書房 高等学校古典（古文編） 三省堂 プラクティカル日本語 おうふう			
[参考書・補助教材] 精選現代文準拠 課題ノート 筑摩書房 / 高等学校古典（古文編） 学習課題ノート 三省堂 図説国語 東京書籍 / 国語必携 パーフェクト演習 尚文出版 / 各種辞書			
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績(80%)+提出物・小テスト等の平常点(20%)-授業態度(最大20%)			
[本科（準学士課程）の学習・教育目標との関連] 1-a, 2-a [教育プログラムの学習・教育目標との関連] [JABEEとの関連]			

Memo
